

夢しずく(ゆめしずく)

登録番号：第14059号

佐藤俊彦 遠藤久 山内一恵

登録年月日：平成13年11月14日

鶴田富雄

登録者：山梨県(山梨県甲府市丸の内
1-6-1)

来歴：「ちよひめ」と「八幡白鳳」の
交雑実生

育成者：手塚誉裕 櫻井健雄 雨宮秀仁
飯島光夫 窪田友幸 猪股雅人
富田 晃 菊島昭子 竹下政春

育成地：山梨県山梨市江曾原(山梨県
果樹試験場)

特性

■栽培特性

樹勢は中～強で新梢の発生数が多い。樹姿は開張する。葉芽や花芽の着生は良好で複芽が多い。栽植距離や整枝せん定などはほぼ「白鳳」に準ずる。

開花期は「白鳳」より2～3日早い。花粉がないので人工授粉による結実確保を必要とする。人工授粉を行えば、実止まりは良く、生理落果や変形果は少ない。

収穫期は満開後90～95日の範囲で、育成地(山梨市：標高440m)における収穫時期は7月中旬で「加納岩白桃」とほぼ同時期である。双胚果や核割れ果の発生は少ない。無袋栽培では樹上部の果実に微裂果が見られる。

■果実特性

果形は扁円形で梗あいの深さはやや深い。果実重は平均300g程度となり、早生種としては大玉で玉揃いがよい。糖度は13～15度と高く、酸味は少なく、果汁が多いので食味に優れる。また肉質は緻密で、日持ち性は良い。果肉の色は乳白色で、果肉内に少し紅色素が入る。着色は容易で全面に鮮紅色に着色する。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

特に問題となる病虫害の発生は認められないが、成熟期が梅雨期にあたるので灰星病など果実腐敗病に対する防除は徹底しなければならない。

着色しやすいので、反射マルチを過剰に使用しないように注意する。通常では、3日程度の使用で果面全体に着色するので、それ以降は反射マルチを外し鮮紅色に仕上げる。無袋栽培では年によって20%程度の果実に裂果が発生する。安定生産するには有袋栽培が前提となる。

■地域適応性

土壌に対する適応性は普通で、生育や品質に問題が見られないので、栽培の適地は広い。モモ栽培地域であれば栽培可能と思われる。

(富田 晃)